

明治安田生命 2007年度入社式 社長挨拶（要旨）

明治安田生命保険相互会社（執行役社長 松尾 憲治）は、本日、421人（総合職132人、特定総合職79人、アソシエイト職一般事務コース210人）の新入職員を迎え、入社式を行いました。以下のとおり、社長挨拶の要旨をお知らせいたします。

信頼回復と「お客さまを大切にする会社」の実現のため、新入職員の力が重要

- 一昨年の保険金等の不適切な不払い問題で、みなさんには大変心配をお掛けした。
- 現在、「明治安田再生プログラム」にもとづき、業務の改善に取り組んでいる。
- みなさんが入社した2007年度は、同プログラムの総仕上げにあたる重要な年度であり、信頼回復と「お客さまを大切にする会社」の実現のため、新入職員の皆さんの力が重要である。

基幹機能の一層の強化とお客さまサービスを向上

- 「お客さまを大切にする会社」の実現に向け、新入職員のみなさんに関連の深い事項を三点お伝えする。
- 今、会社がめざしているのは、「質の向上を重視した経営」。会社は質を意識した様々な取り組みを実行しているが、本日入社したみなさんを次代を担う人材として、早急に一人前にしていきたい。また、正しい理解と正しい仕事をしてもらう人材になってもらいたい。
- 二つめとして、基幹機能（引受・保全・支払等）を一層強化し、お客さまサービスを向上することが会社として大きなテーマである。
- 本日入社した多くのみなさんは、支社・営業所で直接お客さまと接点をもつ仕事をしてもらう。先頭にたって、事務・サービスのクオリティを高めるために努めてもらいたい。
- 三つめとして、製造業ではない生命保険会社は人材がもっとも大切な経営資源である。会社として様々な枠組みを用意し育成するが、一日も早く「自律したプロ人材」に育ってもらいたい。

時代の流れや環境の変化に合わせた革新を進めていくことが重要

- 生命保険会社を取巻く環境は激動の時代。「郵政民営化に伴う郵便保険会社の発足」や「生命保険商品の銀行窓販の解禁」等、我々生命保険業界を取巻く環境はここ数年で大きく変わる。
- 時代の流れや環境の変化に合わせた革新を進めていくことが重要。みなさんの新しい感覚、気概を発揮し、会社・生命保険事業の革新に向け、頑張ってもらいたい。

2007年度入社式実施概要

(1) 日 時 2007年4月2日（月）9：00～9：30

(2) 会 場 明治安田生命西葛西研修所

(3) 出席者 新入職員421人 (人)

	総合職	特定総合職 ^{※1}	アソシエイト職 一般事務コース ^{※2}	合計
新入職員	132	79	210	421

※1 特定総合職は、勤務地限定の総合職という位置付け。入社後は、生命保険事業の中核業務（団体保険営業・個人保険販売者支援等）を中心に担当し、一定期間経過後は、総合職に準ずる幅広い職務を担当。

※2 アソシエイト職一般事務コースは、生命保険事業に関わる事務的業務全般を担当。転居を伴う異動はない。

以上